ほけんだより3月

貝塚市立葛城小学校

２０１５．３月

３月に入り、少しずつ寒さも和らいできましたね。学校では、インフルエンザにかかる児童はいませんが、のどに不調を訴える児童が少しいます。また、花粉症が出始めている子もいます。まだまだ、気を抜かずに手洗い・うがいをしっかりして、インフルエンザや病気にかからないようにしましょう。また、花粉症がひどくならないようにマスクをして予防をしましょう。

「ふわふわことば　と　ちくちくことば」「ふわふわことばの木」

ふわふわことば　と　ちくちくことばの劇を保健給食委員会で発表しました。昨年度から、すてきな言葉を校内で広めるために行っています。今年度で２年目の取り組みです。どんな取り組みにしていくのか６年生の委員さんは、１２月から考えていて、冬休みの間に自分たちで台本を書いて進めてくれました。長縄を跳んでいたときに失敗した子への心ない言葉がけから、どんな言葉がけがよいのか考える劇でした。すてきな劇で大きな声で堂々と発表でき、先生方や友だちにもほめてもらいました。

ありがとう・うれしかったよ
だいじょうぶ？・ともだちだよ
げんき？・だいすき・おはよう
ずっといっしょだよなど
うれしいことばがいっぱいです。

その後、「ふわふわことば」を全校児童に募集して、「ふわふわことばの木」を作りました。言われてうれしい言葉、言ってうれしい言葉、聞いてうれしい言葉を全校児童に書いてもらいました。すてきな言葉がいっぱいあふれて、見ているだけでもとても元気になれます。どんなすてきな言葉があるのか、みんながよく見てくれています。

言葉は話している子どもたちの心にも、聞いている子どもたちの心にも大きな影響があります。普段から、お互いを思いやる言葉があふれる葛城小学校になるようにお家でも声かけをお願いします。

「心豊かな子どもを育てるためには」

大阪芸術大学教育学科教授　西林幸三郎

先日、研修で大阪市の校長を歴任した後、教育センター相談室長をされて、現在は、大津市いじめ問題第三者委員でもある大阪芸術大学教育学科教授　西林幸三郎先生のお話を聞かせていただきました。大津市いじめ事件のことや校長時代のエピソードを交えながら、子どもの自尊感情をどう育てていくのかお話ししてくださいました。そこで、自尊感情や心を育てるための魔法の言葉を教えてもらいました。

「私はあなたのことが大好きだよ。」「大切に思っているよ。」

言葉はことだまといって魂を持っています。子どもたちが自分自身がすばらしいという感情を持つように周囲からたくさんの「あなたは大切だよ。」と言うメッセージを受け取ることが重要だとおっしゃっておられました。今日から是非実践してみてください。

それから、イギリスの小児精神科医のウィニコットの言葉で子どもと親の距離を**「近すぎるのではなく、遠すぎるのでもなく、ちょうどよい関係がいい」**この距離感が必要だとおっしゃっておられました。子育ては親育てでもあります。ほど良い関係で、近すぎて息苦しくならないように、遠すぎて親子の関係がくずれてしまわないようにしていくことが親にとっても子どもにとっても良いそうです。何かの折に思い出して考えてみてください。

6年生のみなさん

卒業おめでとう！

手洗い・うがいをしようね！！

他校の取り組み
三中学校　生活指導委員会

「ヘッドフォン難聴」に注意しましょう。大きな音で聞いていたら、難聴になる可能性があります。
もし、聞こえないと感じることがあれば、早めに病院へ行きましょう。

WHOが 2/27 に音楽など鑑賞する際に聴力を守るために「1 日 1 時間以内」に控えるべきだとの指針を発表しました。お家でも気をつけてあげてください。

性の学習

性の学習は、子どもたちひとりひとりが、自分自身の心と体の成長を見つめ、命の始まり、受け継がれてきた命の大切さを実感し、自尊心を高め、大人に向かって成長してほしいという願いから、担任の先生と連携をとりながら、下記のようなねらいで３学期を中心に学習を行っています。

ご家庭でもお子さんとどんなことを学んだのか、この機会に命や心、体について話をしてみてはいかがでしょうか？

（１年生）大切な体

体のつくりや働き、男女の違いについて知り、自分やお友だちの体を大切に思うことができる。

（２年生）おへそのひみつ

おへその働きから、お母さんと自分の命がつながっていたことやお母さんと協力しながら生まれてきたことを知り

生まれてきたことの喜びを感じ、自分の命もお友だちの命も大切にできる。

（３年生）命を支えるもの、つくり出すもの

体には命をつくり出す素晴らしい仕組みがあることを知り、自分の命やお友だちの命が大事に受け継がれていることを知る。

（４年生）育ちゆくわたし

思春期に起こる男女の体の外側の変化や内側の変化を学び、体だけでなく、心も成長していることを感じ、男女がお互いに大切に思う心を育てる。

（５年生）人の誕生

自分の命のはじまりを、体のつくりや働きとあわせて科学的に知り、自分の命がたくさんの命と愛情に受けつないできた貴重な存在であることを知り、生命を大切にしようとする心を育てる。

（６年生）エイズ

エイズという病気の感染や予防について知り、病気に対する偏見や差別について知り、人の立場を考え、共生できる社会について考える。

※3 月に行います。

性の学習の授業後の感想

☆おふろにはいりかたをおしえてもらった。おんなのこがふたりではいっていたけど、とてもじょうずだった。といれのすりっぱのならべかたもおしえてもらったよ。てのあらいかたはむずかしかったよ。（１年より抜粋）

☆いのちのはじまりは、ぼくらはこんなにもちいさいとわかって、とてもうれしかったです。プライベートゾーンは、みせたりさわらせたりしてはいけないことは、１年生の時にならったけど、ほかのばしょもとってもとっても大切にしていくことをしっかりべんきょうしました。からだのことがすごくわかりやすくなりました。

お母さんは、赤ちゃんをうむことがしんどいけどがんばってうんでくれてうれしかったです。じぶんも産まれてきてうれしいです。これからもお母さんにかんしゃします。（2 年より抜粋）

☆すごいからだのしくみをしていたから、しんぞうがどきどきしちゃったけど、からだのしくみがわかった。きょうから、からだを大切にしていきます。いのちはずっとまえからつながっているなんてすごいと思いました。ご先ぞさまには、かんしゃしなければならないと思いました。せいしもらんしも小さくてびっくりしました。（３年より抜粋）

☆月経が来たらどうしたらいいのかなと思っていたけど、ナプキンの使い方や色々なことを教えてもらって不安が少しとれました。今まで知らなかったので、これから生理がきても学んだことを思い出して、きちんとできるなあと思いました。それから、赤ちゃんを産むために体を大事にしたいと思いました。これから、体が成長していくうちに不安になることが多いけど、保健で勉強できたので、気にしていたことや心配していたことをわかりやすく教えてくれてあまり心配しなくてもいけるなと思いました。ちょっと、気持ちが楽になりました。（４年より抜粋）

☆私たちが生まれてきたのは、奇跡だと思った。誰か祖先がかけてしまったら、わたしという人間はいなかったんだなあと思った。なんかそれってうまくいえないけど、すごいと思った。（５年より抜粋）